

ムラサキオカヤドカリ

Coenobita purpureus Stimpson

十脚目
DECAPODA
オオヤドカリ科
Coenobitidae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし
水産庁 掲載なし

選定理由 亜熱帯に分布する。県内では、1920年代以前に深島で多数の個体が生息していた情報が得られている。現在は数回の現地調査で3個体の生息が確認されただけであり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 深島

分布域 東京(小笠原諸島・慶良間諸島) 九州(大分・宮崎・鹿児島) 沖縄

生息環境 初夏から初秋の夜間だけは浜辺に生息するが、それ以外は海岸近くの林。

現 状 県内唯一の生息地である深島には海岸近くの自然林中にごくわずか生息するだけである。

備 考 日本固有種。国指定天然記念物

ヘイケガニ

Heikea japonica (Von Siebold)

十脚目
DECAPODA
ヘイケガニ科
Dorippidae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし
水産庁 希少種

選定理由 日本では駿河湾以西に分布し、個体数は少ない。県内では、周防灘海底に生息するが、その分布域は狭く、個体数は多くない。干潟消失による海水富栄養化等、生息環境の悪化が懸念される。

県内分布 周防灘

分布域 駿河湾～九州西岸
韓国、台湾、中国南部、ベトナムの各沿岸

生息環境 主な生息域は水深10～30mの貝殻などが多い砂底や泥底をもつ浅海。

現 状 以前は底引き網に多数の個体が採捕されていたが、現在は減少している。

シオマネキ

Uca arcuata (De Haan)

十脚目
DECAPODA
スナガニ科
Ocypodidae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 準
水産庁 希少種

選定理由 紀伊半島以西に分布している。県内では、海岸埋め立て工事や掘削工事による干潟の減少により、生息場所が狭められておる。生息環境の悪化で生息地の減少が懸念される。

県内分布 寄藻川河口域、日出町小深江

分布域 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
朝鮮半島 中国 台湾

生息環境 淡水流入で塩分濃度がやや薄くなり、大潮の日のみに冠水するような泥質干潟。

現 状 県内でその生息が確認できたのは、現在では2地点のみで、個体数も少ない。

備 考 WWFの指定ランク：危険